

読み・書き・計算ドリル(明石版ドリル)活用状況調査結果集計

1 活用状況

活用している 小6校 中1校

2 活用方法及び活用による効果

- ・ 学校独自のテキストの作成に活用、基礎学力の向上に効果をあげている。
- ・ 校内適応教室、多文化共生教育のテキストとして活用、個別指導教材として、個々の習熟度に応じて出題できるため効果的である。
- ・ 取り出し指導で活用、簡単な問題を少ない数でこなすため、達成感がある。自分なりのめあてを立てることも可能である。
- ・ 朝の学習タイム等で活用、既習内容の定着を図ったり、定着を図ったりするのに有効である。
- ・ 基礎学力の定着に効果があった。
- ・ 宿題や自習課題に活用、問題数や問題レベルを自由に設定できるので、進度に差が出ず有効である。
- ・ 練習プリントの一つとして活用、計算力の定着に効果があった。

3 活用していない理由

- ・ 学校独自のドリルを使用している。(複数)
- ・ 教科書に準拠したドリルを使用している。(多数)
- ・ 時間的な余裕がない。(複数)
- ・ 明石版ドリルの周知が十分ではなかった。(複数)
- ・ 市販のドリルを使用している。(多数)

※ 平成21年10月 校長会にて学校に配布。

漢字ドリル 小学校1年生～中学校3年生

計算ドリル 小学校1年生～小学校6年生